



「金融機関のスコープ3」オンライン セミナー

～投融資ポートフォリオの脱炭素化へ向けた最新
動向：PCAF、TCFD、金融SBT

2021年7月7日15：30～17:00
オンライン開催

本イベントスポンサー：



ソコテック・サーティフィケーション・ジャパン株式会社

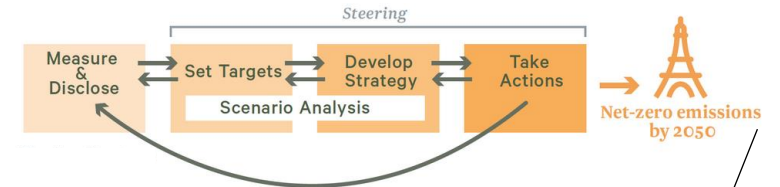
投融资先排出量の測定・開示 とその先に向けて

CDP Worldwide-Japan
高瀬香絵・成田恭子

金融機関の気候関連イニシアチブ



- ▼ かなり多くのものであるように思えます
- ▼ しかし、これらは投融资ポートフォリオを気候変動の目標に沿ったものにする、という1つのプロセスの構成要素です。
- ▼ これらが相互に連携していると利便性が高まります
- ▼ **Partnership for Carbon Accounting Financials (PCAF)** とCDPは連携しています



TCFD提言アップデートの概要(コンサルテーション中)



- スコープ3開示は全セクターが対象であり、金融機関はPCAFを、保険引受についてはWACI(加重平均炭素原単位)を使うこと。
- 全金融機関は将来指標(forward-looking metrics)を開示すべき。銀行・アセットオーナー・アセットマネージャーは、ポートフォリオの2°Cないしはそれ以下との整合(アライメント)を開示すべき。
- 全組織について、削減を公約した国で事業を営む場合、組織として削減を公約した場合、金融市場参加者から排出削減を求められた場合、「低炭素移行計画」を開示すべき。

ポートフォリオが2°Cや1.5°Cと整合しているか？

ポートフォリオ整合ツールの例

★PCAFによる現状の算定が必要



目標設定の有無による計測

- ネットゼロ目標を宣言した投資先・取引先の%
- 主な課題: 目標設定を促すものの、気温との整合は得られない。

SBT :
投資先企業の
SBT設定率目標

2025年までにSBT設定
企業を50%にする。

ベンチマーク収束モデル

- 規範的ベンチマークに対する個社の将来パフォーマンスを計測
- 主な課題: 正しくない手法である場合、意図しない結果をもたらす場合がある。

SBT :
SDA(セクター別原単位収束アプローチ)

不動産ポートフォリオの平方メートルあたりの温室効果ガス排出原単位を、2017年比で2030年までにXX%削減

暗示的気温上昇モデル(ITR)

- 整合の度合いを気温上昇スコアに翻訳
- 主な課題: 複雑な想定に依存

SBT :
気温上昇スコア

気温上昇スコアを、2018年の3°Cから2025年までに2.0°Cにする

: TCFDに加筆(SBT部分)

PCAFとCDPのアライメント



PCAFとCDPが連携して協力する2つの方法

計測

CDP データ

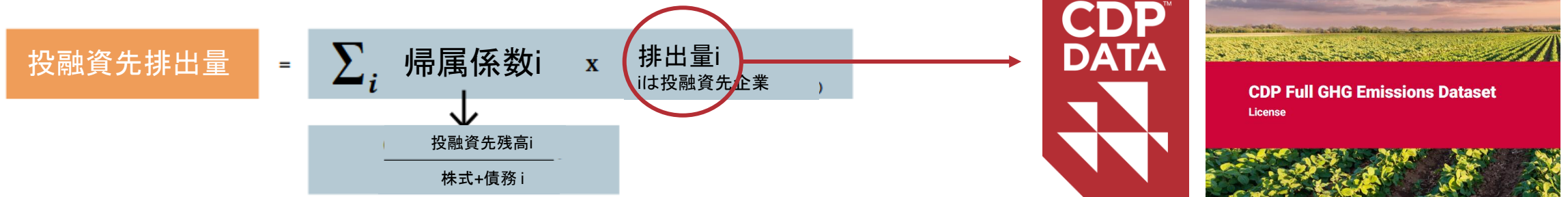
PCAF基準の計算方法では、投融資先の排出量データが必要です。

開示

CDP金融機関向け質問書

PCAFに沿った開示を促進すべく、PCAF報告要件に沿った投融資先排出量についての設問が設定してあります。

連携 – PCAFと CDPデータ



- ▼ PCAF基準の計算手法には、貸出先・投資先・資産についての排出量データが必要です。
- ▼ 金融機関向けには複数のデータ元がありますが、CDPは今日のリーダーです:
 - ▼ 完全GHG排出量データセット
- ▼ 金融セクターが将来の新しい経済を切り開くのを支援します:
 - ▼ PCAFとのさらなる連携
 - ▼ より広範囲の資本市場にデータを提供するために拡張 – より広い資本クラスを活用する

連携 – PCAFと CDPデータ

現在: 完全GHG排出データセットの概要

- ▼ 報告された排出量とエネルギーデータについてクリーニングしたもの、そして報告しなかった企業についての推計値
- ▼ 企業サンプル
 - ▼ CDP投資家サンプルから開始：主要な株価インデックス（MSCI ACWI）で時価総額の高い企業を含む
 - ▼ モデル計算において排出量の高い企業を追加
- ▼ 2つのモデル化アプローチ
 - ▼ 高排出6セクターについての積み上げモデル
 - ▼ その他セクターについての回帰モデル
- ▼ モデルに統合する前に厳格なデータクリーニングプロセスを実施。



連携 – PCAFと CDPデータ

現在: 完全GHG排出データセットの紹介



▼ スコープ 1 + 2 + 3 排出をカバー (スコープ1について下図に例示)

企業番号(ISINコード、証券コード、activity等)

報告排出量、推計排出量

どのように数値を得たか?

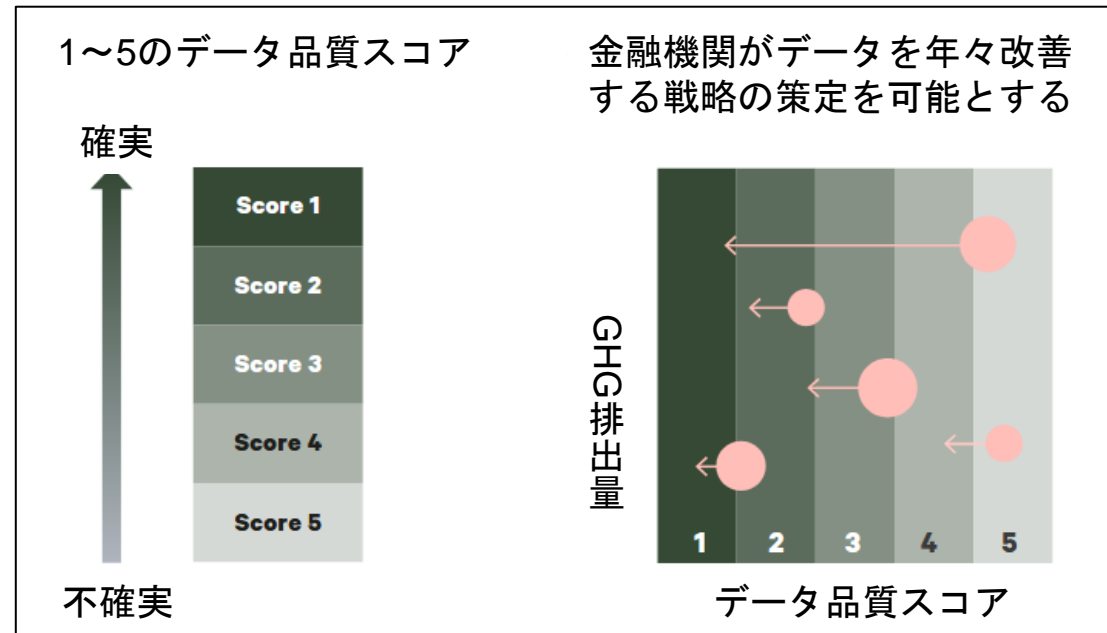
推計の品質は?

	A	B	I	J	K	L
1	Account ID	Company Name	Reported Scope 1 (t)	Estimated Scope 1 (tCO2e)	Scope 1 source	Scope 1 quality
2	74021	(Sichuan) Tianqi Lithium		610000	Estimated: Gamma GLM	1
3	4919	1&1 Drillisch AG		790	Estimated: Carried Forwards	5
4	44	3i Group	142.2		Reported: CDP (Reviewed)	7
5	53	Abertis Infraestructuras	59115		Reported: CDP (Reviewed)	7
6	64	Abbott Laboratories	525000		Reported: CDP (Reviewed)	7
7	832193	11 bit studios SA		65	Estimated: Gamma GLM	3

連携 – PCAFと CDPデータ

これから: よりPCAFと整合性を高めていく予定

- ▼ PCAFは、投融資先排出量計算のもととなるデータの品質を開示することを推奨しています。
- ▼ 重みづけデータ品質スコア
- ▼ 完全GHG排出量データセット内のデータ品質スコアをPCAFと整合させ、計算を可能とする予定
- ▼ ワンストップショップを目指します



推計の品質は?

source	Scope 1 quali
d: Gamma GLM	1
d: Carried Forwards	5
d: CDP (Reviewed)	7
d: CDP (Reviewed)	7
d: CDP (Reviewed)	7
Estimated: Gamma GLM	3

連携 – PCAFと CDPデータ

これから:金融セクターによる新しい経済の実現を支援



▼ より多くの資本市場に
データを提供するために
拡大する計画

▼ 幅広い資産クラス

- ▼ 銀行融資
- ▼ 債券市場
- ▼ PE (Private Equity)
- ▼ 私募債 (Private Credit)

現在

CDP署名機関であり、開示も
行っている金融機関は112
機関。

金融インデックス(株式等)に基づ
いた開示要請を受けている企業
には、大きな上場企業が含まれ
るが、小さな非上場企業または
大きな債券発行企業は入ってい
ないことが多い。

CDPデータ と分析



将来の姿

金融機関はCDPを使って、ポートフォ
リオ内の企業に排出量開示要請を行う。
(サプライチェーンプログラムのモデル)

企業開示データより投融資先排出量を
計算

投融資先排出量やポートフォリオの気
温上昇を報告する金融機関の%が増加

連携 – PCAFと CDP質問書



報告要件

- ▼ 金融機関は投融資先排出量をCO2換算トンにて開示する必要があります(shall)。
- ▼ 金融機関は投融資先の総排出量(スコープ1+2の合計)を総量で開示する必要があります(shall)。
- ▼ 金融機関は投融資先排出量がカバーしている比率(合計投融資に占める割合)を開示する必要があります(shall)。
- ▼ 金融機関は排出量を計算するのに使ったデータの種類や出典を開示する必要があります(should)。透明性を高めるために、説明を記載する必要があります(should)。

(C-FS14.1a) 御社のスコープ3ポートフォリオ排出量はどのようなものですか?(カテゴリー15「投資」合計排出量)

評価状況	スコープ3ポートフォリオ排出量 (CO ₂ 換算トン)	ポートフォリオ対象範囲
選択肢: <ul style="list-style-type: none"> ● 関連性あり、算定済み ● 関連しているが、算定していない ● 関連性なし、算定済み ● 関連性がない。理由の説明 ● 関連性を評価していない 	数値記入欄[最大小数点第2位を用いて、コンマなしで0~999,999,999,999の数字を入力]	選択肢: <ul style="list-style-type: none"> ● 0% ● 0%超、10%以下 ● 10%超、20%以下 ● 20%超、30%以下 ● 30%超、40%以下 ● 40%超、50%以下 (中略) ● 90%超、100%以下 ● 不明
顧客/被投資会社から得たデータを用いて計算された比率	排出量計算方法	説明してください
パーセンテージ記入欄[最大小数点第2位を用いて、0~100の割合を入力]	文章入力欄[最大5,000文字]	文章記入欄[最大2,400文字]

連携 – PCAFと CDP質問書



報告要件

金融機関は、総排出量データについて、資産クラスごと、炭素集約セクターについてはセクターごとに分けたものについて、開示する必要があります(shall)。

経済的排出原単位は、ポートフォリオ、資産クラス、またはセクターレベルで、投資または融資された100万ユーロまたは100万ドルあたりのCO2換算メートルトンにて示す必要があります(shall)。

(C-FS14.2b) 御社のスコープ3ポートフォリオ影響の内訳を資産クラス別に示してください。

資産クラス	指標タイプ	指標の単位	スコープ3ポートフォリオ排出量や他の指標の値	説明してください
以下から選択: ▼ 商業用不動産 ▼ 企業有利子負債 ▼ 公開株式	以下から選択: ▼ 合計炭素総量排出量 ▼ [他の指標]	以下から選択: ▼ CO ₂ 換算メートルトン ▼ [他の単位の選択肢]	数値を入力 [0-999,999,999]	文章を入力 [maximum 2,400 characters]

[Add row]

(C-FS14.2b) 御社のスコープ3ポートフォリオ影響の内訳を産業別に示してください。

産業セクター	指標タイプ	指標の単位	スコープ3ポートフォリオ排出量や他の指標の値	説明してください
以下から選択: ▼ エネルギー ▼ 素材 ▼ 資本財 ...	以下から選択: ▼ 合計炭素総量排出量 ▼ [他の指標]	以下から選択: ▼ CO ₂ 換算メートルトン ▼ [他の単位の選択肢]	数値を入力 [0-999,999,999]	文章を入力 [maximum 2,400 characters]

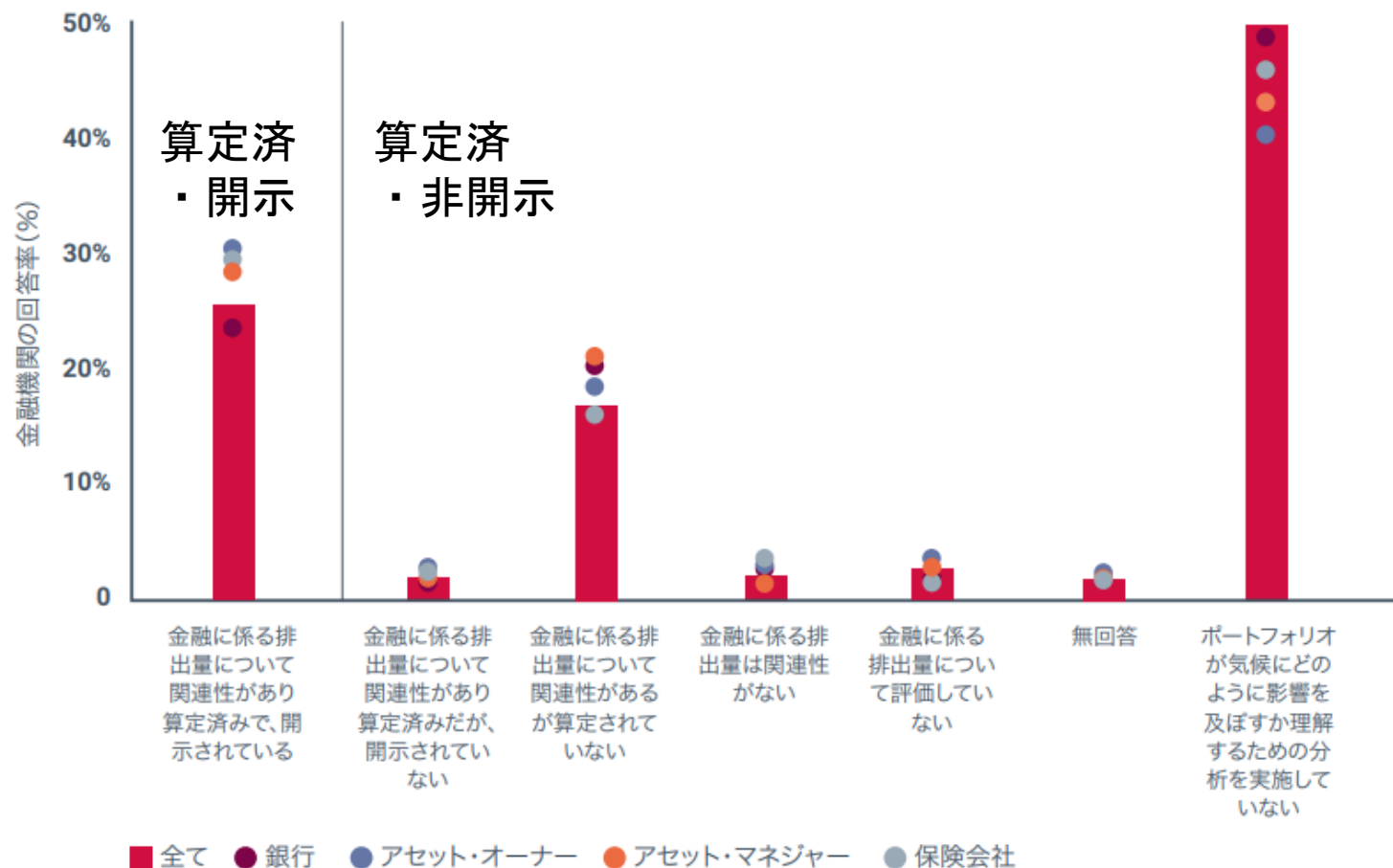
[Add row]

投融資先排出量開示の現状

- ▼ CDP金融サービス開示についての報告書 – **THE TIME TO GREEN FINANCE**(日本語訳[こちら](#))
- ▼ CDPに回答した金融機関の25%のみが投融資先排出量を報告*
- ▼ 84金融機関、資産総額27兆米ドルが開示。
- ▼ 金融機関の**49%**が、自らのポートフォリオが気候に与える影響を全く分析していないと回答。

* 全ポートフォリオについて報告しているものではありません。また基準に沿った手法を用いていないものもあります。

投融資先排出量の開示



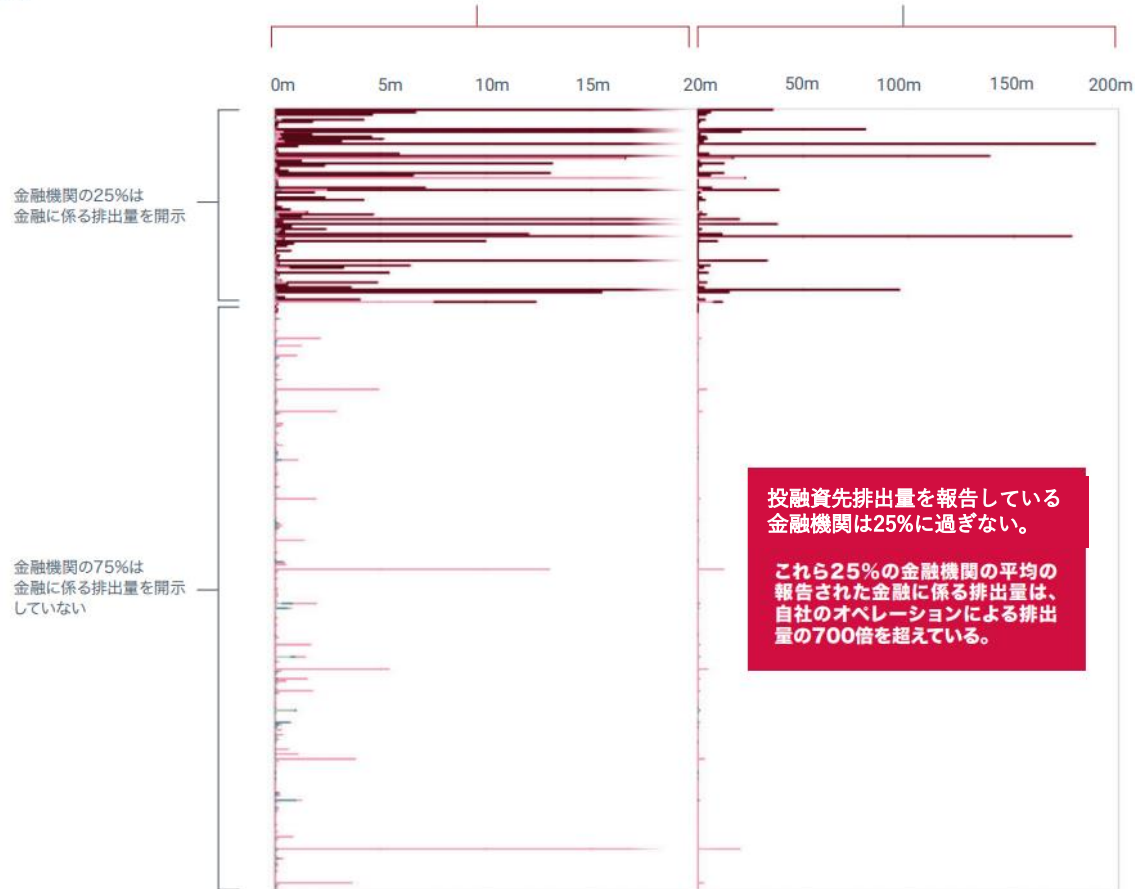
投融资先排出量の開示の現状

スコープ別報告排出量 (tCO₂e)

各棒は回答した金融機関個別の排出量を示す

軸のスケール: 0 - 20m

ポートフォリオにおける金融に係る排出量を表示するため、軸のスケールを 200mまで拡大している

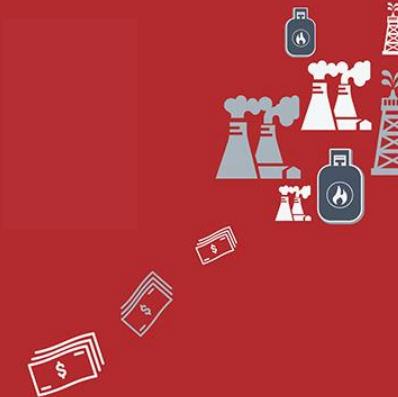


投融资先排出量を報告している金融機関は25%に過ぎない。

これら25%の金融機関の平均の報告された金融に係る排出量は、自社のオペレーションによる排出量の700倍を超えている。

- スコープ1排出量
- スコープ2排出量
- スコープ3排出量(金融に係る排出量を除く)
- 投融资先排出量

世界の金融機関の
ポートフォリオ排出量は、
直接排出量の
700倍以上であった。



#TimeToGreenFinance

*Per organization reporting financed emissions

PCAFとCDPのパートナーシップについて



- ▼ 覚書を締結
- ▼ 今後さらに整合性を高めていく予定
- ▼ 金融機関向けの特にネットゼロ関連についてのガイダンス開発において協力
- ▼ 金融SBT
- ▼ 金融機関の環境報告のあり方を簡素化し、基準の乱立を回避する。



ご清聴ありがとうございました

本イベントスポンサー:



ソコテック・サーティフィケーション・ジャパン株式会社